

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	千葉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人君津あすなろ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	14 単位	12 単位	
	作業療法学科	夜・通信	17 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページアドレス <a href="http://asunarogroup.jp/school">http://asunarogroup.jp/school</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	千葉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人君津あすなろ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページアドレス <http://asunarogroup.jp/school>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人顧問	2023. 5. 28 2025. 5. 28	学生就職について
非常勤	株式会社顧問	2023. 5. 28 2025. 5. 28	学生募集について
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千葉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人君津あすなろ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>《理学療法学科》</p> <p>学則に定める教育課程、授業時数に基づいて各科目の授業計画書(シラバス)を作成している。</p> <p>授業方法及び、内容、到達目標、成績評価の方法については、学科ミーティングにて実施状況の振り返りを実施し、前年度以前の実施状況等を踏まえながら目的の見直しも含め修正を実施している。授業の振り返りは、科目内での担当者間や関連する科目担当者同士で授業内容、指導項目を振り返り漏れのない授業設計、計画を作成している。</p>	
<p>《作業療法学科》</p> <p>学則に定める教育課程、授業時数、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいて各科目の授業計画書(シラバス)を作成している。</p> <p>授業方法及び、内容、到達目標、成績評価の方法については、ガイドラインに沿って実施し、前年度の実施状況を踏まえつつブラッシュアップを行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://asunarogroup.jp/school">http://asunarogroup.jp/school</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

《理学療法学科》

学科では、学校生活や学習支援を目的に教員によるクラス担任制を実施している。さらに1・2学年には、チューター制を導入し学生の状況確認・把握・共有・解決をスピーディーかつ丁寧に実施できるよう調整を図っている。クラス担任及びチューター担当は、各学期開始時に個別面談を実施し学生の生活状況や学習意欲、学習への対応状況などについて聞き取りを行い、それぞれにあった学習計画を設定する支援を行なっている。支援の方法は多岐に渡り、個別指導やグループワーク、課題調整・管理、スケジュール管理など学生の成長度と個人課題に応じた対応を実施している。

成績の評価基準・方法については、学則12条と13条に定めた通りである。授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。単位認定は学則12条、進級認定は試験規則15条、卒業認定は試験規則16条に定められており、保護者会、各クラスのホームルームで周知徹底をしつつ適切に運用している。

《作業療法学科》

学習意欲の把握については、学生の生活・学修支援のために教員のクラス担任制・業務係制を実践している。クラス担任は各学期開始時に個別面談を実施して、学習意欲、生活、学修に関する相談・支援を行っている。必要に応じてご家族への連絡・相談や学生個別・グループの補習を行い、生活・学修支援も行っている。

成績の評価基準・方法については、学則12条と13条に定めた通りである。授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。単位認定は学則12条、進級認定は試験規則15条、卒業認定は試験規則16条に定められており、保護者会、各クラスのホームルームで周知徹底をしつつ適切に運用している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

《理学療法学科》

成績の評価基準・方法については、学則 12 条と 13 条に定めた通りである。

授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。単位認定は学則 12 条、進級認定は試験規則 15 条、卒業認定は試験規則 16 条に定められており、保護者会、各クラスのホームルームで周知徹底をしつつ適切に運用している。

教育の成果の点検・評価結果、学生への公表については、特に国家試験に関しては強化して行っている。2023 年度卒業生の学業達成率については、入学時 33 名、ストレート卒業生 31 名、退学者 2 名であり、学業達成率は 100%であった。退学者のうち 1 名は、急な経済的問題にて退学となった。

本校の過去 3 年の新卒国家試験合格率 (2023 年度 96.9%、2022 年度 100%、2021 年度 100%) 平均値は、98.9%であり、過去 3 年の国家試験全国平均合格率 (2023 年度 87.4%、2022 年度 79.6%、2021 年度 79.0%) 平均値は 82.0%であった。

《作業療法学科》

成績の評価基準・方法については、学則 12 条と 13 条に定めた通りである。

授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。単位認定は学則 12 条、進級認定は試験規則 15 条、卒業認定は試験規則 16 条に定められており、保護者会、各クラスのホームルームで周知徹底をしつつ適切に運用している。

教育の成果の点検・評価結果、学生への公表については、特に国家試験に関しては強化して行っている。2023 年度卒業生の学業達成率については、入学時 16 名、ストレート卒業生 13 名、退学者 3 名であり、学業達成率は 100%であった。

本校の過去 3 年の新卒国家試験合格率 (2023 年度 100%、2022 年度 92.3%、2021 年度 85.7%) 平均値は、92.7%であり、過去 3 年の国家試験全国平均合格率 (2023 年度 91.6%、2022 年度 91.3%、2021 年度 88.7%) 平均値は 90.5%であった。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<http://asunarogroup.jp/school>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

《理学療法学科》

●学則第 14 条 (卒業認定の基準)

所定の課程を修了した者について、総合卒業試験による成績評価のうえ卒業を認める。

●学則第 15 条 (証書の授与・証明書の発行)

校長は、所定の全課程を修了したと認めた者には、修了した課程・学科の名称及び修業年限を記載した卒業証書を授与する。

2 前項の規定により医療専門課程理学療法学科、医療専門課程作業療法学科を修了した者には、高度専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

●卒業に関する規定

試験規則 第 16 条

所定の課程を修了し、必要な課題を提出し、かつ総合卒業試験に合格した者について、卒業判定会議の審査に基づき、学校長が認定する。

2 総合卒業試験は 4 年次に履修する理学療法学科「総合問題演習」、作業療法学科「総合問題演習Ⅳ」の定期試験をもってこれに代える。

《作業療法学科 ディプロマポリシー》

千葉医療福祉専門学校作業療法学科は、CHAMPS 育成モデルに基づく教育課程を修め、以下の項目を取得した学生に卒業を認定します。

- ① 作業療法実践に必要なスキルにより様々な事柄に対処できる
- ② 自己の健康管理に努め、自身の責務を果たすことができる
- ③ 作業療法士として多様な人々と適切とコミュニケーションができる
- ④ 作業療法士としての倫理観に基づく適切な判断と行動ができる
- ⑤ 今だけではなく将来も見据えた思考力・行動力がある
- ⑥ 作業療法士としての向上心を持ち、自己成長することができる

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://asunarogroup.jp/school>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千葉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人君津あすなろ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://asunarogroup.jp/school">http://asunarogroup.jp/school</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	127 単位	91 単位	単位時間 /単位	36 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	昼		127 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		108 人	0 人	6 人	23 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学則に定める教育課程、授業時数、成績の評価に基づいて各科目の授業計画書（シラバス）を作成している。作成したシラバスは、冊子として学生に年度始めに配布する。

授業方法及び、内容、到達目標、成績評価の方法については、学科ミーティングにて実施状況の振り返りを実施し、前年度以前の実施状況等を踏まえながら目的の見直しも含め修正を実施している。授業の振り返りは、科目内での担当者間や関連する科目担当者同士で授業内容、指導項目を振り返り漏れのない授業設計、計画を作成している。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績の評価基準・方法については、学則12条と13条に定めた通りである。授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>(進級)</p> <p>試験規則第 15 条 進級は進級判定会議の審査に基づき、校長が認定する。</p> <p>1 進級判定会議は学期末に実施する。ただし、必要に応じて、随時これを行うことができる。</p> <p>2 単位未修得科目がある場合、または出席状況不良者、学業成績不良者等には、各年次で留年を勧告または決定することがある。</p> <p>3 3 年次までの必要単位を全て取得していなければ、原則として 4 年生に進級できない。</p> <p>4 3 年次から 4 年次の進級にあたっては、原則として「進級判定試験」に合格した者について進級判定会議の審査に基づき、校長が認定する。</p> <p>(卒業)</p> <p>試験規則第 16 条</p> <p>所定の課程を修了し、必要な課題を提出し、かつ総合卒業試験に合格した者について、卒業判定会議の審査に基づき、学校長が認定する。</p> <p>2 総合卒業試験は 4 年次に履修する理学療法学科「総合問題演習」、作業療法学科「総合問題演習Ⅳ」の定期試験をもってこれに代える。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>《少人数制》</p> <p>少人数制により、教員と学生、学生同士が密接に交流できる。 本校の少人数制のメリットとしては以下の 3 点が挙げられる。</p> <p>① 安心・安全の環境で学べる</p> <p>② 個別指導が受けられる</p> <p>③ 仲間と切磋琢磨できる</p> <p>本校では、学生が自身に最適な学習方法を見つけられるサポートをしている。</p> <p>《主体的学びの促進》</p> <p>本校では、独自に縦割り授業を設定・活用し、学年を超えたグループ学習や自主学習を推奨している。学生同士の学び合いを重視し、専門基礎分野の定着を図るため積み上げ式の学習を支援している。</p> <p>《チューター制の導入》</p> <p>クラス担任以外の教員が、グループ分けされた学生の学習支援を実施する。 授業内での様子や小テストなどの課題に対する取り組みは、学科ミーティングで共有し各学生の課題、解決策について話し合いを行う。その後、チューター担当教員が多様な方法を用いて学生の個別支援を実施する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32 人 (100%)	1 人 (3.1%)	30 人 (93.8%)	1 人 (3.1%)



<p>(主な就職、業界等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすなろクリニック ・亀田総合病院 ・袖ヶ浦さつき台病院</li> <li>・季美の森リハビリテーション病院 ・令和リハビリテーション病院</li> <li>・館山病院 ・玄々堂君津病院 ・君津中央病院 ・南洲会勝浦クリニック</li> <li>・船橋市立リハビリテーション病院 ・柏厚生総合病院</li> </ul>
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職説明会、施設見学、履歴書作成、面接練習、その他の相談など</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士(国家資格)</li> <li>・初級パラスポーツ指導員</li> <li>・赤十字ベーシックライフサポーター認定</li> <li>・赤十字救急法救急員(赤十字ファーストエイドプロバイダー)認定</li> <li>・福祉住環境コーディネーター2級もしくは3級</li> </ul>
<p>(備考)(任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	4人	3.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路変更</li> <li>・経済的に継続が困難</li> </ul>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学科では、学校生活や学習支援を目的に教員によるクラス担任制を実施している。さらに1・2学年には、チューター制を導入し学生の状況確認・把握・共有・解決をスピーディーかつ丁寧に実施できるよう調整を図っている。クラス担任及びチューター担当は、各学期開始時に個別面談を実施し学生の生活状況や学習意欲、学習への対応状況などについて聞き取りを行い、それぞれにあった学習計画を設定する支援を行なっている。支援の方法は多岐に渡り、個別指導やグループワーク、課題調整・管理、スケジュール管理など学生の成長度と個人課題に応じた対応を実施している。</p> <p>学校内だけでは、学生の状態把握は困難であるため、ご家庭での様子などを確認するためご家族との連携も強化している。お電話での相談や対面面談など、学生に最もよりアプローチを検討し実施している。上記のように、学生に寄り添うサポートを実践している。</p> <p>中退者の中には、急な経済的原因で退学を余儀なくされる学生も存在するため、本校では留年生学費減免制度を設けて経済的理由で中退を防止、夢を諦めさせない制度も設けている。</p> <p>中退者については、進路変更後の様子などを確認するために連絡を取り合うなど、その後の状況についても把握するように努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理学療法学科	300,000円	800,000円	550,000円	実験実習費・施設設備費・雑費
作業療法学科	300,000円	800,000円	550,000円	実験実習費・施設設備費・雑費
修学支援(任意記載事項)				
① 特待生制度 ② 給付型奨学金制度 ③ 通学費補助 ④ 家賃補助				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
ホームページアドレス <a href="https://asunarogroup.jp/school">https://asunarogroup.jp/school</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>学校関係者として、リハビリテーション分野の関係団体の関係者及び医療機関実務者とともに、学校関係者評価委員会を立ち上げ、当該分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。</p> <p>評価項目は、教育理念・目標、教育活動、学生受入、学校組織、施設・設備等、学生生活支援等。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人千葉県理学療法士会 理事	2024.4.1~2026.3.31	関連業界関係者
医療法人職員 実習担当	2024.4.1~2026.3.31	実習関係者
医療法人職員	2024.4.1~2026.3.31	非常勤講師
卒業生	2024.4.1~2026.3.31	元専任教員
学校関係者評価結果の公表方法		
ホームページアドレス <a href="https://asunarogroup.jp/school">https://asunarogroup.jp/school</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

ホームページアドレス <a href="https://asunarogroup.jp/school">https://asunarogroup.jp/school</a>
--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千葉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人君津あすなろ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://asunarogroup.jp/school">http://asunarogroup.jp/school</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	129 単位	90 単位	単位時間 /単位	39 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			129 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		66 人	0 人	6 人	22 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

千葉医療福祉専門学校作業療法学科は、卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、CHAMPS育成モデルに基づき、以下に示す項目を踏まえ、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、その他からなる教育課程を編成します。

- ① 学生にとって安心・安全の環境を提供し、作業療法士として基礎になる知識、技術、態度に関する教育を実施する
- ② 学生が、人と人のつながり、知識と知識のつながりを実感しながら作業療法士として必要な知識、技術、態度に関する教育を実施する
- ③ 学生が、学習したことを応用したり創意工夫しながら作業療法士に必要な知識、技術、態度を高められる教育を実施する
- ④ 教育実践においては、学生の「メタ認知」「自己効力感」「動機づけ」「具体的方略と実践」という4要素を育成する

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績の評価基準・方法については、学則 12 条と 13 条に定めた通りである。 授業科目内容に合致した評価方法については、試験規則の定めと講義概要の各授業科目の評価方法に従って実施している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業、進級の認定基準については、進級認定は試験規則 15 条、卒業認定は試験規則 16 条に定められている。</p> <p>《ディプロマポリシー》</p> <p>千葉医療福祉専門学校作業療法学科は、CHAMPS 育成モデルに基づく教育課程を修め、以下の項目を修得した学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 作業療法実践に必要なスキルにより様々な事柄に対処できる</li> <li>② 自己の健康管理に努め、自身の責務を果たすことができる</li> <li>③ 作業療法士として多様な人々と適切とコミュニケーションができる</li> <li>④ 作業療法士としての倫理観に基づく適切な判断と行動ができる</li> <li>⑤ 今だけではなく将来も見据えた思考力・行動力がある</li> <li>⑥ 作業療法士としての向上心を持ち、自己成長することができる</li> </ol>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>《少人数制》</p> <p>少人数制により、教員と学生、学生同士が密接に交流ができる。本校の少人数制のメリットとしては以下の 3 点が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 安心・安全の環境で学べる</li> <li>⑤ 個別指導が受けられる</li> <li>⑥ 仲間と切磋琢磨できる</li> </ol> <p>本校では、学生が自身に最適な学習方法を見つけられるサポートをしている。</p> <p>《主体的学びの促進》</p> <p>本校名物の多学年共同学習縦割授業とき時間を活用し、学年を超えたグループ学習や自主学習を推奨している。学生同士の学び合いを重視し、積み上げ式の学習を支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 ( 0%)	13 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
<p>(主な就職、業界等) 医療関係</p> <p>《身体障害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県千葉リハビリテーションセンター ・亀田総合病院 ・館山病院</li> <li>・船橋市立リハビリテーション病院 ・季美の森リハビリテーション病院</li> <li>・令和リハビリテーション病院</li> </ul> <p>《精神障害》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>袖ヶ浦さつき台病院 ・石郷岡病院</li> </ul> <p>《老年期》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かもめメディカルケアセンター</li> </ul>			

(就職指導内容) 就職説明会、施設見学、履歴書作成、面接練習、その他の相談など
(主な学修成果(資格・検定等)) ・作業療法士(国家資格) ・初級パラスポーツ指導員 ・福祉住環境コーディネーター3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	6人	8.1%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>中退防止の取組みとして、まず、学習意欲の把握をしている。クラス担任は各学期開始時に個別指導を実施して、学習意欲、生活・学修に関する相談・支援を行っている。必要に応じてご家族への連絡・相談や学生個別・グループの補習を行い、生活・学修支援も行っている。さらに、定期試験前後に面談を行い、現状分析や注意喚起を行うこともある。</p> <p>また、本校では留年生学費減免制度を設けて経済的理由で中退を防止、夢を諦めさせない制度も設けている。</p> <p>中退者については、前向きな意味での進路変更と捉え、連絡を取り合うなど、その後の状況についても把握するように努めている。中退者の中には元同級生の卒業式に駆けつけてくれる者もいる。</p>		